

いい 風呂のひ
ノーリツ、11月26日を前にお風呂に関する意識調査

半数近くの方は、お風呂に入るとき思わず声を出してしまった経験が！

～今年お風呂にゆっくりつかってほしい人は、「家族」「自分」に続き「錦織圭選手」！～

湯まわり設備メーカーの㈱ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金201億円、東証一部上場)は、11月26日の「いい風呂の日」に合わせて、お風呂とリラックス、今年の入浴スタイルに対する意識調査を実施し、結果を「お風呂白書2014」としてまとめました。有効回答数は1,083人です。本資料は調査の中から一部を抽出したもので、以下のような傾向が明らかになりました。

**お風呂に入った時に、思わず言葉を発してしまった人は半数近く。
「あ～」、「はあ～！」など言葉にならない感嘆詞のようなものが多数。**

・お風呂に入った時に思わず言葉を発してしまったことがある人は、48.7%と半数近くに上りました。リラックスの場であるお風呂では、多くの人が思わず声を出してしまうようです。男女別だと、「女性」は60.6%、「男性」は46.6%と女性が14ポイント高い結果となりました。一般的に女性の方がおしゃべり好きと言われていますが、お風呂でもそれが現れているような結果になりました。

自分や家族が、お風呂で転倒するなど危険な目にあった経験がある人は計46.1%と半数近く。

・自分、または家族がお風呂で危ない経験をしたことがあるかという質問をしたところ、合計46.1%の人が危ない経験をしたことがあるという結果に。また、その内訳では「自分」が25.3%とトップになりました。年代別に見ると60代以上では「自分」という回答が27.2%と最も多くなりました。シニアは、お風呂で危ない目に合うことが多いという結果になりました。
・自分や家族が危ない目にあった人にどのような経験をしたか尋ねたところ、一番多かったのは「滑って転んだ」が62.1%でしたが、心臓が止まりかけたり、意識を失ったりと極めて危険な目にあった人もいました。

**普段もっともストレスと感じることは、50代以下では「仕事」が62.7%。
一方、60代以上では「体調不良」が34.2%とトップに。**

・お風呂でリラックスすることで、気分転換やストレスを解消する人が多いですが、そもそもストレス源はどこにあるのか質問した結果、50代以下では「仕事」が62.7%と大多数を占めました。一方、定年を迎えた方も多い60代以上では「仕事」は18.8%、「体調不良」が34.2%で1位になるなど、世代間の格差が読み取れます。また、60代以上は「ストレスを感じることはない」との回答も28.8%を占めるなど、安定した日常生活を送っている人も多いようです。

**お風呂といえばリラックス。今年お風呂にゆっくりつかってほしい人を尋ねたところ、1位「家族」、2位「自分」。両回答を合わせると50%以上に。
有名人では、「錦織圭」、「安倍晋三」、「タモリ」の順に。**

・お風呂とリラックスということで、今年の頑張りをたたえて、お風呂にゆっくりつかってほしい人を尋ねたところ、家族や自分と答えた人が大半でした。ただ、有名人に絞ると、今年テニスで大ブレイクした錦織圭選手、話題にあがるが多かった安倍総理、今年メインでつとめていたTV番組が終了したタモリさんの順になりました。

本資料は、ノーリツが実施した、全国の男女を対象にお風呂に対する意識を調査した「おふろ白書2014」の結果から一部を抽出したものです。テーマは2011年と同じ「おふろトリラックス」、「おふろの危険」、本年の話題として「今年の入浴スタイル」を調査しました。
 ※「おふろ白書2014」全文は当社ホームページからご確認ください。

http://www.noritz.co.jp/library/csr/social/yoku_shokuiku/hakusho/ofuro_hakusyo2014.pdf

調査概要

●調査目的

おふろトリラックス、おふろの危険、今年の入浴スタイルを明らかにするために実施。

●調査方法

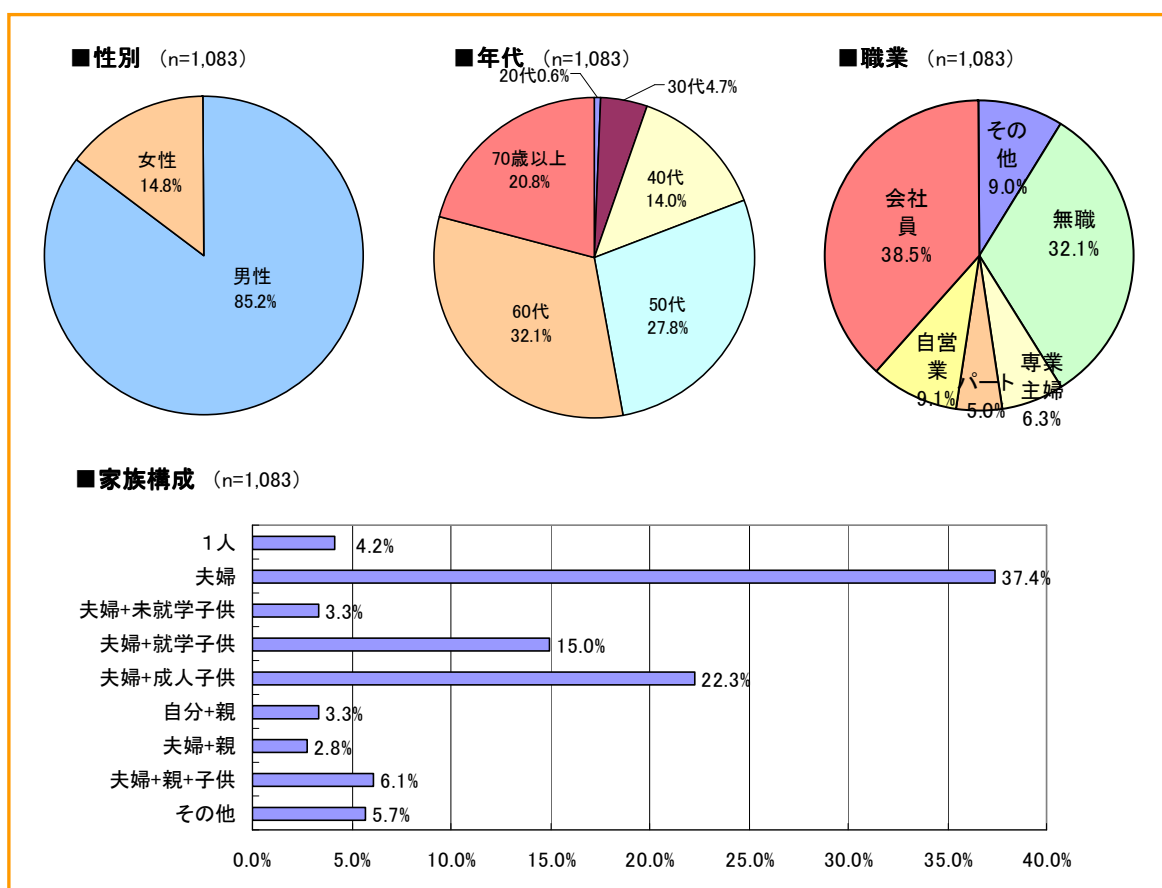
Webアンケート

●調査対象

ノーリツ製品所有者専用サイト「CLUB NORITZ(クラブノーリツ)」会員

(全国の全世代男女)有効回答件数: 1,083件

●回答者の構成



●調査エリア

全国

●調査実施

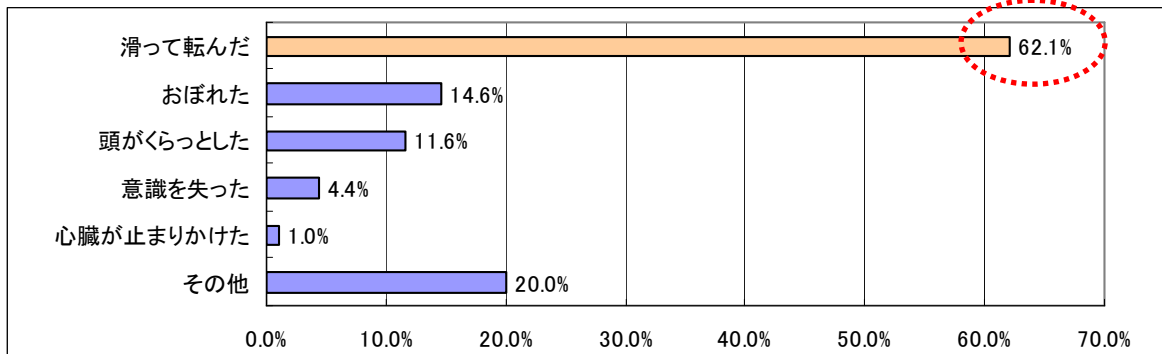
2014年9月19日～22日

(グラフ内のパーセンテージは小数点以下第2位を四捨五入しています。)

●自分や家族が危険な目にあっただことがあるかを尋ねました。半数以上の方が「危ないという経験はない」という結果になったものの、44.0%と半数近くの方が自分や家族が危険な目にあっただことがあるということがわかりました。

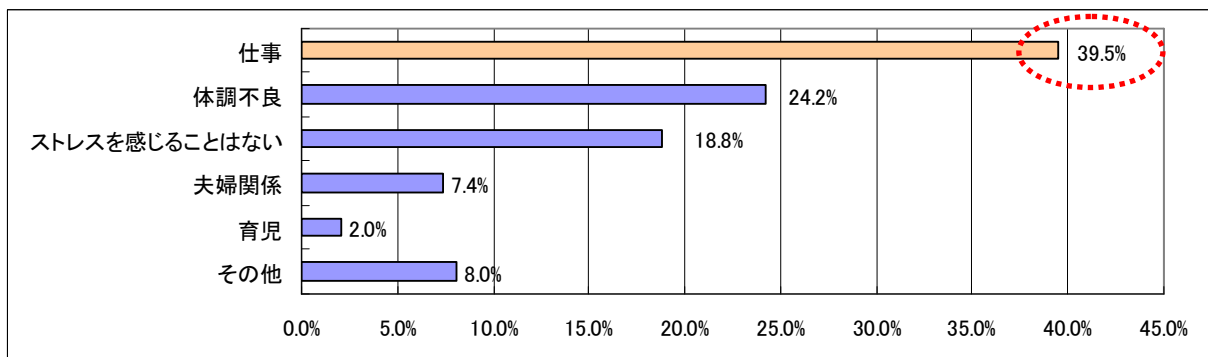
●年代別に見ると、年齢が高い層ほど、「自分」が危険な目にあっただ経験が多くなることがわかりました。また、30代・40代では、「小学生以下の子ども」の数値が多い結果となりました。子育て世代は子どもへの注意喚起が必要だということもわかりました。

■(お風呂での危ない経験)それはどのようなことですか？ (前問で危ない経験があると回答された方)(n=499)

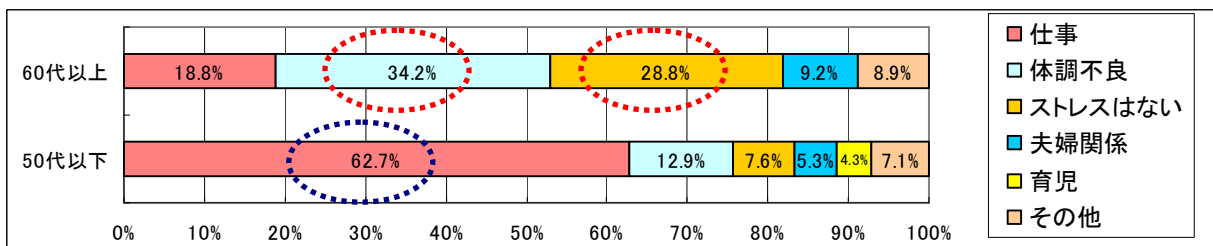


●お風呂での危ない経験は、「滑って転んだ」という回答が62.1%と大多数を占めました。中には「意識を失った」、「心臓が止まりかけた」など非常に危険な状態になった方が合わせて5.4%に及ぶなど、命の危険が伴うこともあるということがわかりました。

■普段もっともストレスと感じることはなんですか？ (n=1,083)



【年代別】

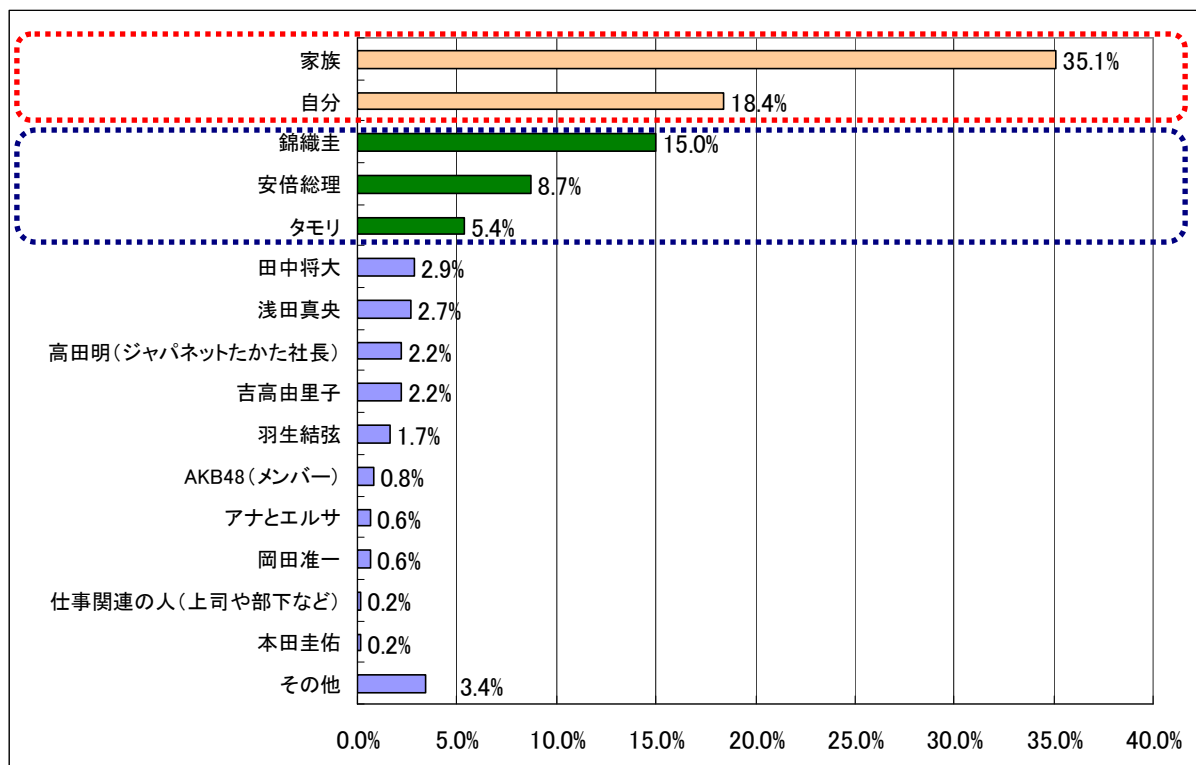


●最もストレスを感じることを聞いたところ、「仕事」が一番という結果になりました。

●年代別に分けたところ、50代以下の62.7%が仕事と答え、他の回答と比べて突出して多いのに対し、60代以上では「体調不良」が34.2%とトップになり、「ストレスを感じることはない」という回答が28.8%で2番目になるなど、大きな差が見られました。

●男女別に比較すると、男女ともに一番は「仕事」ですが、男性の方が12.6ポイントも高いことがわかりました。また、女性は男性よりも「育児」が10.1ポイント、「夫婦関係」が3.1ポイント高い傾向が見られました。

■あなたが今年おふろにゆっくりつかってほしいと思う人は誰ですか（n=1,083）



今年頑張ったことをたたえて、ゆっくりおふろにつかってほしい人を尋ねました。

●おふろにゆっくりつかってほしい人は「家族」がトップに！また、上位の「家族」と「自分」の回答を合わせると、53.5%と大多数を占めました。1年の労をねぎらいたいのは、一番身近にいる親しい人だということがわかりました。

●有名人の中では、今年テニスで大活躍した「錦織圭選手」に続き、「安倍総理」、「タモリさん」の順になりました。